

【事務事業調査】

事務事業名	町体育協会補助	予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-10-05-01-0003-01-04-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 係長	スポーツ係 野澤 威
		事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H23 事後評価</p> <p>◆高根沢町体育協会の円滑な運営や、各専門競技の競技力向上や競技人口の増加(スポーツ実施者の増加)、青少年の指導・育成のために、財政的な支援を行いました。</p> <p>H25 事前評価</p> <p>◆高根沢町体育協会の円滑な運営や、各専門競技の競技力向上や競技人口の増加(スポーツ実施者の増加)、青少年の指導・育成のために、財政的な支援を行います。</p> <p>◆平成25年度より、高根沢町スポーツ少年団を町体育協会へ組み入れる(町スポーツ少年団補助金も組み入れる)</p>	<p>◆町民がいつでも、どこでも、気軽に運動に参加できる環境づくりにつながります。</p> <p>◆体育協会に加盟している競技専門部が年間を通してスポーツ教室や、競技大会を開催することで、競技力の向上、また、町民一人1スポーツの推進に大きく貢献し、運動習慣の定着につながりました。</p> <p>※高根沢町体育協会とは、高根沢町の生涯スポーツ推進の中心を担う団体です。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
専門部及びスポーツ少年団の数	27団体		<p>◆競技専門部(陸上競技部、野球部、卓球部、バレーボール部、ソフトテニス部、バドミントン部、サッカー部、弓道部、剣道部、柔道部、ソフトボール部、バスケットボール部、射撃部、空手道部、テニス部、ゲートボール部、グラウンド・ゴルフ部) 17部</p> <p>◆スポーツ少年団 10団体(軟式野球4団体、ソフトボール2団体、ミニバスケットボール2団体、柔道1団体、空手道1団体)</p>

■事業費(計画)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	補助金	3,323	町体育協会 3,124,000円(H24年度と同額要求) 町スポーツ少年団 199,000円(H24年度と同額要求)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		3,323	

■事業費(実績)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	3,323		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	3,323		

■補助金等名:町体育協会補助金

■補助事業者等:町体育協会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというあてはまる:3点
- (4)どちらかというあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	高根沢町の競技スポーツの中核を担う団体として、塩谷地区スポーツ大会や県民スポーツ大会に町代表選手を送りだしています。日頃から各種目のスポーツ教室を開催し、町内の子どもから大人まで、生涯スポーツの振興と選手・指導者の育成に努めています。また、町内で実施される各種大会等の運営に協力
		■町全体に波及効果が期待できる。	4	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	生涯スポーツの振興と町民のスポーツ実施率の向上を目指し、スポーツを通じて地域づくり、人づくりに貢献しています。スポーツ少年団において、小学生からスポーツに親しむことにより、生涯を通じて運動習慣を定着させ、健康でたくましい人づくりのきっかけとなっています。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	4	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	4	各種スポーツ教室を開催し、住民の運動欲求を満たすことができるように、様々な方法で広報し、広く参加者を募っています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	4	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	人づくりや競技技術の向上、また、スポーツを実施することによる満足度など効果が明白でない部分もあるが、継続してスポーツ教室が開催されていることや、地区・県民スポーツ大会にほぼ全種目参加できる選手を育成していることにより効果を認めることができます。各専門部やスポーツ少年団において、各種大会に積極的に参加し、優秀な成績を残しています。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	本町の生涯スポーツを担う団体として組織化できており、目指す方向性も的確であり、H25年度より事務局職員を非常勤で配置し、更に自主・自立を促します。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	4	
合計点数		39		
総合評価		継続		